

お待たせしました。
話題の男たちの詩

北海道の 男三人 世紀の詩朗唱

言葉が活字と肉体を超える。

躍動から生まれる静寂。明日をさぐる

言葉のパロール。

村田謙 霧田千代磨 斉藤征義

●2017. 12月17日(日)

PM2:00～ドラマシアターども

江別市2条2丁目7-1
TEL 011-384-4011

- 参加費 1,000円
- 混みあいますのでお早めにご来場下さい。

主催 北海道の男の詩朗唱会

〒054-0211 むかわ町穂別107-2 斉藤方

連絡先 TEL 090-3110-7413 (斉藤)

村田 讓 (むらた じょう)

詩誌「饗宴」をへて「小樽詩話会」同人。独特のパフォーマンスによる詩朗読で知られ、自作詩朗読はもとより野外詩劇「ポオの森の太陽まつり」(旧穂別町)など各地の朗読会に出演、「吟遊詩人大賞コンテスト」で優秀賞、「声のポエム大賞コンテスト」で大賞受賞。詩集に「月の扇大地の泉」「空への軌跡」「海からの背骨」「渴く夏」など。北海道詩人協会、日本詩人クラブ会員。
1959年室蘭市生まれ。

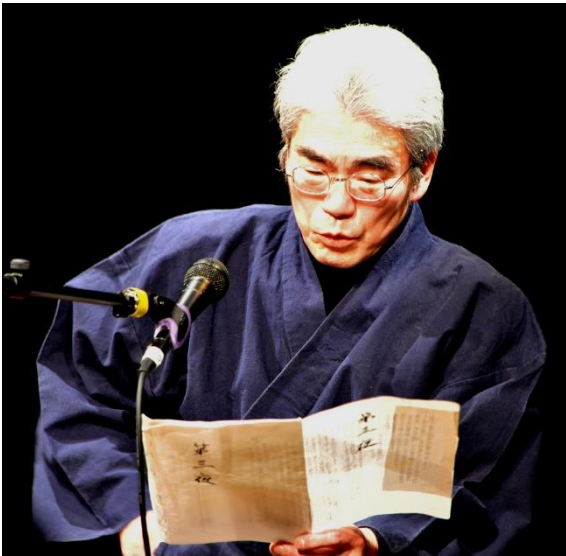
霜田 千代麿 (しもだ ちよまる)

岩見沢の浄土寺住職。北海道ポーランド文化協会副会長。寺山修司学会誌「寺山修司研究」にエッセイを連載。またさまざまな同人誌に俳句を掲載している。岩見沢市在住。

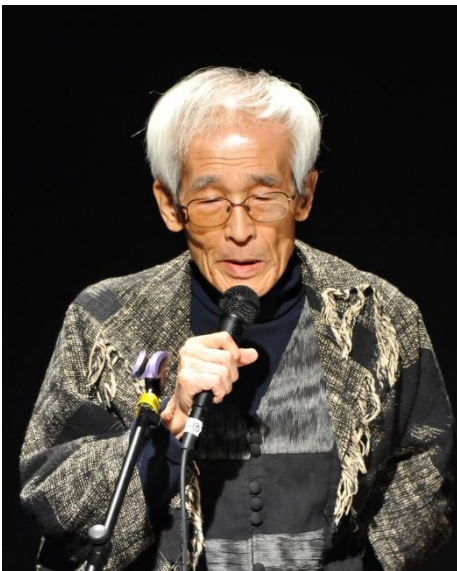
斉藤 征義 (さいとう まさよし)

北海道文学館理事。日本詩人クラブ会員。宮沢賢治学会副代表理事を歴任し、賢治研究論も多数。詩集「コスモス海岸」で北海道詩人協会賞。詩集に「午後の契約」「宇宙船売却」など。高齢者たちによる映画「田んぼ de ミュージカル」シリーズのシナリオ、演出を担当し、地域文化奨励賞、総務大臣賞など多くの賞を得た。胆振管内穂別在住。

北海道の男三人世紀の詩朗唱:霜田千代麿、村田譲、斉藤征義、ドラマシアターども、2017年12月17日(日)14:00~16:00



霜田千代麿、村田譲



斉藤征義 (写真 尾形芳秀)